

日 時：令和5年6月29日（木）18時30分～19時50分

場 所：李平町会センター

対象地区：李平

参加人数：16名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○出産祝金について</p> <p>（市民から）</p> <p>出産祝金の対象を第1子まで拡大することなどを検討するとの新聞報道を見たが、どのような検討をしているか。</p> <p>また、要件として「市に3年以上住所を有すること」とあるが、移住者だと対象外になる方もいる。この要件などを見直し、過去に出産祝金の対象外となった方でも、見直しによって対象になる方がいれば支給することを検討していただきたい。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ これまでは、第3子以降の出産の際に30万円を支給していたが、第1子からの支給がいいのか、支給額はどうかなど、少子化対策として、より効果的な制度となるよう検討している。</li><li>・ 住所の要件なども含めて、検討していく。</li></ul>
<p>○道路の交通安全について</p> <p>（市民から）</p> <p>老人保健施設のぞみの前の交差点は事故が多いが、停止線が消えかけている。停止線を塗りなおすか、双方の道路に止まれの道路標識を設置できないか。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 停止線と道路標識は警察の管轄となるが、現場を確認し、市民課にて対応する。どのような対応となるかは町会長にご連絡する。</li></ul>
<p>○道路の交通安全について</p> <p>（市民から）</p> <p>松月園を右手に見て北に向かったところの丁字路が、見通しが悪く危険な箇所であるため、カーブミラーを設置できないか。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ カーブミラーは市の管轄であり、担当である市民課が現場を確認して対応する。どのような対応となるかは町会長にご連絡する。</li></ul>

○野生動物への対応について

(市民から)

カラス、キジ、キツネなどの野生動物が生息していて、特にカラスが多いように感じる。市ではどういった対応ができるのか。

(市から)

- ・市では、猟友会と協力し鳥獣被害対策を実施しているが、猟友会が対応する主な対象はクマやイノシシであるため、難しい部分もある。猟友会とも協議し、どのような対応ができるかは町会長にご連絡する。

○平川市内で新婚生活をはじめの方への支援について

(市民から)

結婚したら平川市内で生活することを考えている人がいるが、市ではどういった支援があるか。

(市から)

- ・住宅の取得・賃貸・リフォーム・引越費用などの一部を補助する「結婚新生活支援補助金」がある。年齢によって補助額が異なりその他要件もあるので、まずはご相談いただきたい。

○あおもり 10 市大祭典について

(市民から)

平川市らしさを出して開催していただきたいが、開催に向けて今どのような状況か。

(市から)

- ・今年度は当市がホスト市。事務局は青森県市長会で、RAB サービスがイベントの準備を進めている。
- ・祭りの内容は、例年と同じく山車の運行や名産品のイベントなどであり、当市の世界一の扇ねふたも運行予定。現在は概要が決まっており、7月から詳細を詰めていく。
- ・メイン会場は、マックスバリュ平賀店の駐車場のコインランドリー付近で、山車の運行は商工会前まで行う。
- ・当市で例年秋に開催しているひらかわフェスタと同様のイベントも同日開催するため、商工会や物産協会とも打合せを行っている。また、来場者が1日8万人・2日間で16万人を想定しており、誘客に支障が無いように、駐車場のある事業者や弘南鉄道・弘南バスとも協議を行っている。

○出産への支援について

(市民から)

子育て支援はこれまでもやってきて市外からの転入もあるが、市民の中での人口増にもつながるよう、不妊治療などの出産への支援はあるか。

(市から)

- ・社会や考え方の変化もあり、どこまで行政が関わるかはいろいろな考えがあるが、育てる・産む・出会う、いずれの段階へも支援が必要と思う。出会いに関して言えば、県や圏域の事業もあるが、生まれた子どもへの支援については、市では手厚く行っている。
- ・人口減少への対策は、役所内でもさまざま検討しているが、国や県の動向を見ながら、更に検討をしていく。

○猿賀公園の景観について

(市民から)

見晴ヶ池の中の島(恵比須神社)の松の剪定がされていない。また、鏡ヶ池に茅(カヤ)が増えている。観光客からの見た目も良くないので対応をお願いしたい。

(市から)

- ・観光客からの見た目という点も考慮して対応したい。

○空き家について

(市民から)

木や雑草が伸びている空き家に対して、市ではどういった対応をしているのか。

(市から)

- ・私有地には立ち入りが制限されるため、市が関与できない部分もあるが、固定資産税の通知を所有者や相続人に送る際、適切な管理をお願いする文書を同封している。
- ・空き家の所有者や相続人の情報を教えることはできないが、ご相談いただければ、市から関係者に連絡して対応したい。

○広報紙について

(市民から)

広報紙は見た目にはきれいだが、高齢者からは「カラーの字は見えにくい」などの声がある。もう少し文字を見やすくしたり、目次を設けてもらうなどしてもらえないか。

また、特に大事な情報については、広報紙への掲載ではなく、白黒で良いので別刷りして広報紙に挟み込んでもらえないか。

(市から)

- ・今後も、きれいさだけではなく、見やすさも考えていきたい。
- ・別刷りで広報紙へ挟み込むことは考えていない。

- ・幅広い年代の方に見ていただきたいと思っているが、世代によって見やすい、見にくいという意見はどうしても出てしまう。
- ・カラーの字にするにしても、色使いを考慮するなどして見やすいようにしたい。
- ・公達員や班長の負担が大きいというのが以前から課題としてあり、今年度より広報紙を4ページ増やして、チラシの配布や回覧などを少なくするようにしている。

○金田小学校東側の道路について

(市民から)

金田小学校東側の道路は朝晩の交通量が多く、冬は道路が狭くなる。小学生の通学路としては危険だと感じているが、小学校の改築と合わせて、歩道を付けるなどの道路改良の予定はあるか。

(市から)

- ・小学校の改築と一緒にという考えもあるかと思うが、道路改良は緊急性や危険度の高いものから順に対応している。
- ・場所としては南田中の行政区内であるため、南田中の町会長にも話を聞き、現場を調査したい。
- ・新しい校舎は現在の校庭に建てられ、現在校舎が建っている場所を十分な広さの駐車場として整備するため、東側の道路の危険は少なくなる。
- ・この件は、学校教育課とも共有する。

○除雪出動の情報発信について

(市民から)

冬は除雪車が来れば家の前の雪かきをしなければならず、除雪車が来たのか来なかったのかを気にして起きている。市ホームページなどで除雪出動の有無を知ることが出来れば、除雪車が来ないときは安心して寝ていられるため、そのような情報発信を検討していただきたい。

(市から)

- ・除雪車の走行経路などを把握するシステムはあるが、リアルタイムでの情報発信には対応していない。また、降雪の時間や量によって出動時間がバラバラであるため、いますぐに情報発信できるようにはならないが、市民生活の向上の点から検討したい。